

# 緩和ケア病棟におけるトイレでの排泄に関する後ろ向き研究について

研究機関 芦屋中央病院 リハビリテーション科  
研究担当者 今別府 和徳  
研究分担者 竹下 彩乃 河村 裕美子

このたび芦屋中央病院 リハビリテーション科では、倫理委員会の承認を得た上で、緩和ケア病棟に入院したことがある患者様のトイレでの排泄に関する後ろ向き研究を行います。この研究を実施することによる患者様の新たな負担は一切ございません。また、患者様のプライバシーの保護については、法令等を遵守いたしますのでご安心ください。

なお、本研究への患者様の情報の利用について望まれない場合は、研究担当者へご連絡ください。

## 1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、緩和ケア病棟に入院した患者様がいつまでトイレでの排泄が可能であるかを調査することです。緩和ケア病棟では患者様が人生の最期を迎えるにあたって、その意向に沿った治療・ケアを行うことが求められるため予後予測は重要です。なかでもトイレでの排泄は個人の尊厳に関わるため最期まで希望される場面が多いのですが、それがいつまで可能かを予測する手段は少ない状況です。そこで緩和ケア病棟に入院した患者様がいつまでトイレでの排泄が可能であったかを週単位の短期的予後予測ツールである Palliative Prognostic Index (PPI) を用いて予測できないかと考えました。今回の結果をもとに、患者様が希望する限りできるだけトイレでの排泄を支援できるように取り組んでいきたいと考えております。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2021年3月～2022年11月に芦屋中央病院 緩和ケア病棟に入院したことがある患者様を対象とします。

### 2) 研究実施期間

本研究の実施許可日から5年間とします。

### 3) 研究方法

後方視的に診療録より基本情報を収集し、週1回開催されるカンファレンス記録よりトイレ排泄の可・不可と PPI 値(下位項目含む)の情報を収集します。

### 4) 使用する試料・情報

#### ◇ 研究に使用する試料

無し

#### ◇ 研究に使用する情報

匿名化した ID、年齢、性別、原疾患名、受け入れ元、入院日、リハビリ開始日、Barthel Index、転帰先、リハビリ終了日、退院日、トイレでの排泄の可・不可、PPI など。情報を提供して下さった患者さん個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名化されます。

#### 5)情報の保存

情報は電子媒体にて匿名化を行った上で保管します。電子媒体は院内のみで使用し、リハビリテーション室内に5年間保存した後、削除します。

#### 6)研究計画書の開示

研究担当者へご連絡ください。個別に対応し、開示します。

#### 7)研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者さんの個人情報が見えないようにした上で、学会発表や学術論文などで公表します。

#### 8)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

芦屋中央病院 リハビリテーション科

研究担当者 今別府 和徳

研究分担者 竹下 彩乃 河村 裕美子

連絡先(電話番号) 093-222-2931 (平日:9時~17時)

#### 9) 外部への情報の提供

(1) 保存された情報等は他の医学研究への利用を目的に提供されることはありません。

(2) 情報を他の営利団体、民間の機関(規制機関など)に提供することはありません。

#### 10) 研究組織

芦屋中央病院 リハビリテーション科

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿 283 番地7